



## 【卒業生等とのディスカッションⅡ】

### 《目的》

地元で活躍する方々とのディスカッションを通じて、企業で働く方々の仕事に向き合う姿勢や職業人としての意識を学ばせるとともに地域産業への理解の深化を図る。

### 《実施内容》

- 日 時 平成29年 7月 7日(金) 11:00～
- 場 所 今治工業高等学校 大会議室
- 対 象 機械造船科2年生 40名
- 内 容
  - ・地 場 産 業 紹 介：地域の産業(船舶・機械)についての紹介
  - ・ディスカッション：主題「地域産業への理解の深化」
  - ・指 導 ・ 助 言：SPH推進アドバイザーによる助言等



### 《講師》

- 地場産業の紹介・ディスカッションでの助言
  - [船舶産業] あいえず造船、檜垣造船、山中造船
  - [機械産業] 今治ヤンマー、ダイハツディーゼル四国イワキテック



### 《地場産業の紹介》

- ・45年間勤める間に船の長さは倍、積荷は十倍になった。
- ・地方で働く場合は、特に人と人の繋がりが大切であり、この繋がりが、ものづくりにも生かされていると思う。
- ・海事都市今治の一翼を担えるよう頑張ってもらいたい。



### 《ディスカッションでの助言の内容》

- ・興味の有無に関係なく、常にメモを取ることが大切。
- ・指示待ち人間はダメ。自分で考え、率先して動くことよい。
- ・学校は90点で褒められる。仕事は100点が当たり前。
- ・興味を持ったら自分から聞く。その時、先輩に聞くことよい。

### 《生徒の感想・学んだこと》

- ・造船所に限らず、人と人の繋がりが大事であるということが分かりました。
- ・仕事をする上で失敗することはとても大切、という言葉が心に響きました。
- ・今回は、前回より質問できたので、今後は話し方や質を改善したいです。
- ・目標を立て、目標に向かって頑張ることで、やりがいを感じられるということ。
- ・入社後、しっかりと技術を身に付けようとしている人が成功するという事。



### 《SPH推進アドバイザー岡田さんの助言》

はじまりはいつもゼロから。日々の努力や、辛いことでも楽しいと気持ちを切り替えることによって、人は成長できる。今回このことを生徒は学んだ。

